





事務所：長野県伊那市西町 5016-2 電話 0265(76)5858 例会日：毎週火曜日 例会場：海老屋料理店 0265(72)2158
 会長：藤澤健二 副会長：伊澤和男 幹事：多田浩之 公共イメージ向上委員長：三澤耕太



ロータリーは機会の扉を開く

2020-2021 国際ロータリーのテーマ
ロータリーは機会の扉を開く

2020-2021 RI会長
 ホルガー・クナーク
 <ドイツ>



第1577回例会 令和3年4月20日(火)

■ 点 鐘 12:30

■ ソング 伊那中央ロータリー讃歌 平澤理ソングリーダー



■ 会長談話 藤澤健二会長



こんにちは。本日は伊那中央ロータリークラブの創立記念例会です。おめでとうございます。コロナ期でも有りますが開催をさせて頂きました。宜しくお願いします。なお、食事は海老屋さんに腕を振るって頂き豪華お弁当を準備させて頂きました。お忘れなくお持ち帰りください。

また、本日は卓話として特別にチャーターメンバーの1人でも有る橋場先生にお願いをしました。創立当時の話をして頂きます。楽しみにしています。

実は…。ロータリーに入るまでは知らない事でしたが私の父親もチャーターメンバーの1人でした。ロータリークラブと書いてある立派な盾や賞状、背広を着た知らないオジさん達と写っている写真が居間に大切に飾ってあった事は覚えています。父親の藤澤因は1994年7月5日に第8期の会長となりました。直前会長は兼子会員でした。「奉仕活動を思い切り！楽しく充実した1年を」と言うスローガンを掲げて、会長の挨拶では父親は「1年の計は元旦にあり」を「1年の計は7月にあり」に組み替えて、その初夢には「一富士二鷹三茄子」が縁起が良いとされており、偶々お客さんのご希望の茄子柄の香炉の由緒によりますと、茄子の存在が大変に意義深く記されておりましたので、是非 茄子の存在にあやかって、この1年を無事有意義に務めさせて頂けますようお願い申し上げます。と挨拶をしたとのことでした。

さて、伊那中央ロータリークラブ第1年度のクラブ計画書によりますと当時の会員数は31名。下平晃会長の掲げた年度方針は「RI会長テーマ「ロータリアン奉仕に結束、平和に献身」を基本理念に、当クラブの独自の諸方策を推進し、各委員会活動の活発化を図って充実したクラブ運営を実行したい。」とされており。私も「初心忘るべからず、会長でいられるのも後残り少なくなりましたが、何とか頑張って務めさせて頂きます。以上、今回の談話とさせて頂きます。ありがとうございました。

■ 幹事報告 多田浩之幹事 幹事報告は別紙をご覧ください。

■ 委員会報告

・4月18日(日) インターアクト地区研修・協議会の報告 井上修地区IA委員



首題の件、先に用意して頂いた同じオンライン機器をインターアクト10校が導入して、4月18日(日曜日)各校を会場に行われました。初めての試みでやや心配もありましたが、特段の事故もなく順調でした。但、いくつかの修整箇所もあり【地区大会】に向けてなおしていきます。

ホスト校は長野女子高等学校。10:00～12:30。内容は、成田ガバナー挨拶、

2600地区青少年奉仕委員長挨拶に続き、

研修1：ロータリークラブ及びインターアクトクラブの活動について

国際ロータリー第2600地区インターアクト委員長 脇田博美氏

：ロータリークラブ交換留学生制度とその現状について

国際ロータリー第2600地区青少年交換委員長 柏澤由紀一氏

研修2：各校の近況報告 各校5分程度

松商学園高等学校 松本工業高等学校 南安曇農業高等学校 東海大学付属諏訪高等学校

文化学園長野中学・高等学校 須坂創成高等学校 下伊那農業高等学校 伊那西高等学校

長野女子高等学校 松本第一高等学校

講評 ガバナーエレクト 桑澤一郎氏。

前後には長野女子高等学校の司会、点鐘、ソング、参加者紹介（インターアクト高校のみ）もありました。



■ ニコニコボックス

- ◆藤澤健二 本日は創立記念例会です。父親の遺品から、第1年度のクラブ計画書・会報No.6～など持参しました。回覧にてご覧ください。なお創立記念卓話をチャーターメンバーの橋場先生にお願いしました。よろしくお願い致します。
- ◆多田浩之 本日、創立記念例会です。橋場先生に当クラブの創立時の話をさせていただきます。先生、楽しみにしています。宜しくお願いします。
- ◆橋場正尚 本日は創立記念例会。私の結婚記念日でもあります。
- ◆矢島宏 社会奉仕委員会でリモートで池田幸平会員に大変お世話になりました。ありがとうございます。
- ◆田中洋 伊那中央ロータリークラブ創立34周年おめでとうございます。今日は橋場先生の創立記念卓話を楽しみにしております。
- ◆小椋文成 ソフトボールクラブへいつもご支援いただきありがとうございます。また活動報告もさせていただきます。

■ 出席報告

会員数45名 出席免除会員5名 長欠会員2名 本日出席者28名 事前メイク4名
出席率82.05% 前回出席率 修正なし

■ 創立記念卓話 チャーターメンバー 橋場正尚会員

「伊那中央ロータリークラブ誕生の雑感」



世界の主な都市にはロータリークラブが数多く存在する。

それらのクラブは、地域ごとに集まってグループを作っている。

我がクラブは上伊那グループに、そして長野県の2600地区に、さらに世界の国際ロータリーに加盟している。

1987年に誕生した我がクラブ。

当時長野県は愛知県と1つのグループ（地区）を作っていたが、クラブ数が100近くもあり、ガバナーの公式訪問も大変。

そこで愛知県と長野県を分割する動きがあったが、長野県のクラブが36。ロータリーの要領では40クラブ以上でないと1つの地区が作れなかった。そのためには長野県にあと4つのクラブを作らないといけない。

ようやく3つ出来たがあと1つが難しかったと聞く。
そこで伊那市にもう1つクラブがあってもいいのではないかと目をつけられた。
伊那クラブがスポンサーになって、創立メンバーを募った。
(それで集まったメンバーをキーメンバーという)

キーメンバーがクラブの創立を目指して、会員の増強に努め31名の会員が集まり、1987年5月19日に第一回の例会が開かれた。
(このメンバーをチャーターメンバーとも言う)

もちろん創立から運営に至るまで伊那ロータリークラブからの指導が欠かせない。
そして派遣された藤沢氏(特別代表)と木下氏(ガバナーエイド)をはじめ、伊那ロータリークラブの皆さんには大変お世話になり、クラブが誕生することになるが、これが親クラブと言われ、生まれた新クラブが子クラブである。

また会長にはチャーターメンバーから下平氏を指名し、会則や事務局・例会場の確保などなど大変な仕事があった。
私ことですが、バナーのデザイン係を命ぜられた。数人で毎晩集まった記憶がある。

さてクラブが誕生すると、国際ロータリーに加盟しなくてはならない。
この手続きと認証伝達式(チャーターナイト)の企画です。
この準備に6ヶ月かかり11月29日に行われた。
信じられないほどの大規模な式典であった。全会員が夫婦同伴で働いた。

当日は私が友愛の広場の担当であった。
寒い日であり用意した熱い甘酒が大人気で、これのサービスで大忙し。
肝心の式典はほとんど見ないで終わってしまった。
このチャーターナイトで始めて正式なロータリアンになるわけです。
メンバーの平均年齢53歳、最高齢者で66才という若々しいクラブとして注目された。

■ 活動助成金の授与 藤澤健二会長

アルプスイ〜なちゃんソフトボールクラブ保護者代表
小椋文成会員へ活動助成金が授与されました。



■ 点 鐘 13:30

次回例会

4月27日(火) 点鐘 12:30 場所 海老屋料理店
・地区研修・協議会の報告II
・委員会引継ぎと次年度委員会計画